

■第7期介護保険事業計画の要介護者数及び要支援者数の見込に対する実績

	H30見込	H30実績	増減	R1見込	R1実績	増減	R2見込	R2実績	増減
総数	710	751	41	742	734	△ 8	787	750	△ 37
要支援1	39	33	△ 6	37	29	△ 8	36	27	△ 9
要支援2	56	115	59	50	119	69	42	122	80
要介護1	145	130	△ 15	153	138	△ 15	169	138	△ 31
要介護2	136	163	27	151	158	7	156	170	14
要介護3	140	117	△ 23	145	120	△ 25	152	118	△ 34
要介護4	97	117	20	99	105	6	110	102	△ 8
要介護5	97	76	△ 21	107	65	△ 42	122	73	△ 49
うち第1号被保険者数	699	743	44	731	728	△ 3	774	742	△ 32
要支援1	39	33	△ 6	37	29	△ 8	36	26	△ 10
要支援2	55	114	59	49	117	68	41	121	80
要介護1	145	129	△ 16	153	138	△ 15	169	137	△ 32
要介護2	135	162	27	151	158	7	156	169	13
要介護3	137	114	△ 23	141	118	△ 23	147	116	△ 31
要介護4	95	117	22	97	103	6	108	101	△ 7
要介護5	93	74	△ 19	103	65	△ 38	117	72	△ 45

【令和2年度の分析結果】 [対象：第1号被保険者数]

- 認定者数全体でみた場合、見込みに対し32人の減となっている。（計画値より大幅減）
- 要支援2の誤差が最も大きい。（+80人）
- 次いで要介護5の減少が大きい（△45人）
- 要介護1と要介護3は見込値から大きく減少している（要介護1：△32人、要介護3：△31人）

【第7期計画期間中の分析結果】

- 認定者数全体でみた場合、計画では年々増加することを見込んでいたが、実績では概ね横ばいとなった。
- 要支援2は計画で見込んでいた数値より大きく上回るようになった。
- 要介護1、3、5は各年度とも計画で見込んでいた数値より下回る結果となった。

○年度の当初は計画を上回る認定者数だったものの、計画末期では逆に計画値を下回ることとなり、推計値ほどの急激な伸びはなかった。

○要支援2の増加が計画値を大きく上回っている。軽度者の認定申請が多いことと、総合事業以上の利用回数増を希望される（総合事業→1回/週 要支援2→2/週 など）方が多い、入退院をきっかけとした福祉用具貸与・住宅改修からの通所リハ利用などが考えられる。

○要介護3～5は見込みを下回っており、重度化はある程度抑制されているものと考えられる。

○要介護1は計画値を下回ったものの要介護2までの軽度者に比重が偏っており、居宅サービス給付費の増加要因となっている。

◎軽度者の認定率を抑制するためにも、総合事業の多様なサービスの充実と一般介護予防事業（介護予防教室、通いの場等）の参加率向上、介護予防の重要性についての啓発を行い、併せて要介護（支援）認定者の重度化防止・自立支援のケアマネジメントの推進を図っていく必要がある。